

蒼山会 創作・研究補助制度 2013年度採用者 最終報告

「蒼山会 創作・研究補助制度」は、一年間という長期間におよぶ創作・研究活動に対し、保護者会から補助金を支給する制度です。

学生生活委員の厳正なる審査の結果、2013年度は5件の企画が採用され、その補助金総額1,968,225円でした。

補助期間が終了し最終報告を迎えるにあたり、採用者の活動内容をパネルで紹介します。報告会ではより詳しい内容の報告がありますので、興味のある人はぜひ聴講ください。

蒼山会 創作・研究補助制度 2013年度採用者 最終報告会

日時：2014年11月6日(木) 18:00～
途中入退場自由
会場：NA413教室



芸術表現・アートプロデュース学科 林 イエヒョン (グループ)

「Non-Linear/非線形」プロジェクト展覧会開催・ インタビュー/記録・カタログ制作

補助金額 654,320円

プロジェクト“ALL NIGHT HAPS”『Non-Linear/非線形』では、本学の在學生と卒業生がこれまで大学で学んできたことを活かして、それぞれがアーティスト、キュレーター、編集者として協力し合い活動してきました。

数回に渡る展覧会開催とインタビュー映像・冊子制作、そしてそのすべての記録であるカタログの制作まで、活動のなかには蒼山会の支援がなければ実現が難しいものが多々ありました。なかでも、アーティストのプランに近い形で作品展示が出来たこと、アーカイブとして重要な役割を持つ紙媒体の広報物を各コンセプトに合わせて制作できたこと、関連イベントにゲストをお招きすることが出来たことは、支援があったからこそ可能だったと思います。

このプロジェクトで得たことを糧に、いつかまた一緒に仕事できるよう、各メンバーはそれぞれの道を極めていきます。





芸術表現・アートプロデュース学科 荒川 莉佳子（グループ）

伊藤キムプロデュース「おやじカフェ」京都開催 に向けて

補助金額 355,005円

私たちのグループは「おやじカフェ」という企画が採用されました。

「おやじカフェ」とは、公募で集まった自称「おやじ」たちがカフェの店員に扮し、フードの給仕やダンスパフォーマンスを披露するイベントです。「みんなはおやじを好きになりおやじは自分を好きになる」というコンセプトを掲げ、来場者と参加者の双方が「おやじ」の新たな価値観を見出すことを目的としました。

蒼山会の創作・研究補助制度によって実現できたおかげで、三日間の開催で368人もの方に来場していただきました。おやじ達からも「自分に自信が持てるようになった」「これからも愛されるおやじでいたい」という言葉をいただき、企画を通じて勇気や自信をつけてもらえたと思います。



おやじ達がお客さんの前でダンスパフォーマンスをしている様子



客引きの為、おやじ達が路上に向かってダンスパフォーマンスをしている様子



情報デザイン学科
林 亜由子 (グループ)

女川町仮設住宅敷地内コンテナカフェでのイベント開催

補助金額 170,900円

私達は宮城県女川町で震災復興支援活動を行っています。町内のある仮設住宅の広場に、住民が店主として利用できるカフェをつくりましたが、開店に至る方がなかなか現れませんでした。

そこで、カフェのプロモーションのためのイベントを企画したいと考え、創作・研究補助制度に申請しました。関西に住む私達が被災地で活動を行うとなると、多額の交通費・宿泊費がかかりますが、この制度の助成金を材料費に充てる事が出来たため、充実したイベントを行うことが出来ました。お金を補助していただいている分、責任をもって企画を遂行しなくては、という意識にもつながります。

現在コンテナカフェは、女川町の方によって、平日は毎日営業しています。

女川に赴き沢山の方とお会いできた経験を、今後の支援活動に活かしたいと思います。



カフェ外観。コンテナを改装して作られています。営業中は机と椅子を広場を覆うテントの下に並べます



イベント当日の様子。カフェの営業の他に、ワークショップも実施しています



歴史遺産学科
茅谷 友惟（グループ）

奄美地方の集中豪雨によって破損した地車の救援活動

補助金額 288,000円

私たちは、奄美地方で発生した集中豪雨によって被災した地車（だんじり）の救援活動のために補助金の申請をしました。

破損した部材の確認・整理・クリーニングを現地で行いました。部材ひとつひとつの位置を確認し、管理タグをつけ、収蔵庫に保管することで、巨大な資料ゆえに博物館で手つかずになっていた状態から、次の研究や調査、保存にも繋がる活動ができたと考えています。

実際、主となる部材は大東市立歴史民俗資料館に運ばれ、より良い設備のもと、クリーニング・写真撮影・計測調査が行われ、その後、資料館での展覧会の開催も決定しました。文化財を残し、伝えていくための活動ができたと感じています。



だんじり彫刻ひとつひとつに部材整理カードを付与



奄美の博物館にて作業前のだんじり部材の保管状況



美術工芸学科
蒲原 早奈美 (グループ)

オサム・ジェームス・中川写真展「沖縄-オキナワ-OKINAWA」の記録集の制作・刊行

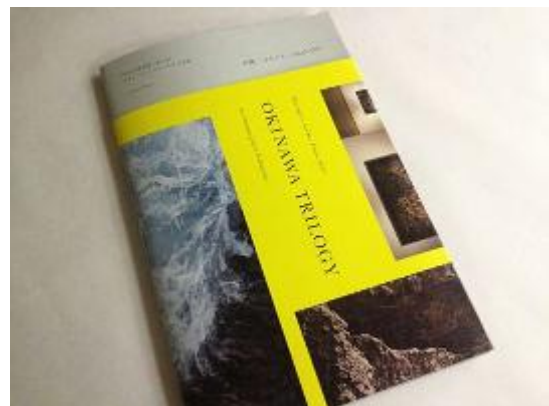
補助金額 500,000円

2013年11月にギャラリー・オーブで開催された展覧会「時代の精神展 第二回 オサム・ジェームス・中川 写真展 沖縄-オキナワ-OKINAWA」のアーカイブブックを発行する為、この制度に応募しました。展覧会という限られた期間だけで完結させるのではなく、その後の生活に寄り添えるようなアーカイブブックを製作したいと考えたからです。

アーカイブブックを発行(2014年6月)し、展覧会にてアンケートをかいてくださった方々や、協力してくださった方々、美術関係者、沖縄などの図書館、大学、美術館などに送りました。すると、様々なお返事を頂きました。この展覧会(アーカイブブック製作含め)を通してを学んだ事を活かし、今後様々な分野での制作をしていきたいと思っています。



展覧会設営後の集合写真



完成したアーカイブブック